

ジェンダーの問題が性別役割分業として表出し、あるいは覆い隠される場面が頻出する領域の1つとして、家庭があげられます。本講演会では、日本家族社会学会による全国家族調査（National Family Research of Japan）データをもとに、高齢者のケアについての意識、成人子と親の関係、離婚後の経済状況などを計量的に明らかにするとともに、1999-2019年のデータから見えてくる日本の家族についての規範や実情、課題を概観し、今後の動向や対応策について考えていきます。

**筒井淳也** 立命館大学教授

ジェンダーの視点からみる  
「おとな親子関係」とその変化

**田中重人** 東北大学准教授

結婚・離婚と性別格差

**乾順子** 大阪府立大学准教授

同居・扶養・介護についての意識は  
どう変わってきたのか

コーディネーター：乾 順子（本学准教授）  
内藤葉子（本学准教授）

# 計量分析から 読み解く ジェンダーと家族

2021年度 第25期女性学講演会  
大阪府立大学女性学研究センター主催

**10・23 (Sat)**  
**13:00 - 16:00**  
オンライン開催（Zoom 利用）

申込方法：女性学研究センター WEB サイト、または右記の QR コードからお申し込みください。

参加費：無料

申込締切：10月20日（水）17時まで

お問合せ先：女性学研究センター

<http://www.human.osakafu-u.ac.jp/w-center/>

Zoom のアドレスを10月21日（木）にお知らせいたします。この日にメールが届かない場合、10月22日（金）16時までに女性学研究センターにご連絡ください。

